

令和6年度事業所評価アンケート

	はい	いいえ	どちらでもない	改善目標、工夫できる点
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50		50	法令順守はできているがものの整理と運動療育スペースの拡大があるとより良く支援ができると思う。
業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	75	25	25	識学導入を行いルールの明確化による生産性向上を図っている。
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75		25	ビジョンチェックや専門家によるウイスク検査を随時行って支援を検討している。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75		25	基本の設定は個別に行っているが情報伝達で工夫が必要。ミーティングでの引継ぎを引き続き行う。
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50		50	勤務形態により参加できない職員がいる。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	100			
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100			
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	75	25		ビジョントレーニングやSTの研修を行っている。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50	25	25	研修企画や野外活動企画を行うが人数に限りがある。回数を増やしていく。
個人情報に十分注意しているか	100			
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100			
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	100			

に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				
職員の配置数は適切であるか	50		50	基準人員は満たしているが加配があるほうがより安全で活動の幅が広がるため引き続き募集をしつつ、ふさわしい人材の雇用を慎重に行う。
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			
活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50	25	25	自立支援協議会の参加やフェア、研修参加を行っている。
運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100			
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50	25	25	基準のバリアフリーは行っているが、身障者トイレやスロープなど回収をゆくゆくで検討

				している。
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50		50	勤務時間により参加できない職員がいるが、日案で共通認識する。または同僚から個別に伝達を行う。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	75		25	時間割の確認は必須で毎週実施。常時勤務者がメインで対応しているが、月の勤務日数が少ない方は実施したことがない業務である。誰もができるように仕組みづくりを実施中。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100			
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	75	25		消防訓練時は春日野消防団の参加や近隣住民の見学も実施した。交流イベントも行っていきたい。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			